

あいがとうがいっぱい！

笑顔がいっぱい！ 緑ヶ丘小学校

令和3年度
学校便り 1月号

今月号は裏面もあります！

文責 校長 長友

この学校便りは、本校のホームページでもご覧になることができます。

2学期が終わりました。ありがとうございました。

12月24日(金)で2学期が終了しました。始まった頃の9月はまだ新型コロナウイルスがまん延していて不安を抱えたままのスタートでした。それから少しずつ感染症が落ち着いていったおかげで運動会、宿泊学習、修学旅行、参観日等の大きな行事をはじめ、外部との交流をする活動や調理実習等も無事に実施できたことは本当にありがたいことでした。4月に比べると子どもたちは心身共に大きく成長しています。これも保護者の皆様や地域の皆様のご支援、ご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

来年もどうぞよろしくお願いたします。よいお年をお迎えください。

なわとび大会 ～12月19日(日) オープンスクール～



たくさんの保護者の皆様に応援していただき、子どもたちは自分の記録に挑みました。「できなかったことができる」こんな嬉しいことはありません。子どもたちがなわとびに一生懸命取り組む理由はそこです。冬休みはご家族でチャレンジしてみましょう。



立派な門松ができました！

緑ヶ丘小の「おやし会」の皆様が、管理棟前に立派な門松を作ってくださいました。子どもたちの幸せを願って10年以上も続けられている活動です。ほんとうにありがとうございます。

いい年を迎えられる予感がするパワーを感じます。ぜひご覧になられてください。



なお、感染症拡大状況等により予定が変更になることもありますのでご了承ください。

- 7日(金) 3学期始業式
- 12日(水) 読み語り(下学年)
PTA 運営委員会
- 13日(木) クリーンデー
- 14日(金) ベルマークの日
- 17日(月) お話会(高学年)

- 19日(水) CRTテスト(国語)
- 20日(木) CRTテスト(算数)
- 24日(月) 委員会活動
- 25日(火) クラブ活動(3年生見学)
- 26日(水) 読み語り(上学年)
- 27日(木) 避難訓練(火災)
- 31日(月) 全校朝会

明日から冬休み！

ありがとう・笑顔がいっぱいの冬休み！～家族の一員として大活躍しよう～

冬休みが始まります。クリスマス、お正月と子どもたちは冬休みを迎えわくわくしていることでしょう。年末年始には、家族で過ごすことも多くなると思います。そこで、子どもたちに家族の一員としての役割を果たしてもらい、ありがとう・笑顔がいっぱいの冬休みにすることに取り組んでいただきたいと思います。夏休みにもお願いしたところ、たくさんのすばらしい報告をいただきました（学校のホームページにも掲載してあります）そこで、冬休みにも子どもたちの大活躍を期待しています。その場限りのお手伝いとは違う、家族の一員としての役割。お風呂の準備や洗濯ものたたみ、玄関掃除などできることを家族で話し合っ決めてみましょう。靴並べだけでもりっぱなものです。難しい場合は、親子いっしょに作業をするでもいいです。子どもたちの頑張りには、最大級の称賛をお願いします。子どもたちも家族もみんなが笑顔になれるといいですね。



安全な冬休みに

冬休みは帰省する車も多く、地域になれていない人が車を運転する機会も増えます。子どもの飛び出しや自転車事故が起きないように学校でも指導しましたが、ご家庭でも繰り返し指導をお願いします。また、危険な行為を見かけたらどのお子さんでも躊躇なく声をかけていただくとありがたいです。そのひと言が子どもたちの命を救うことにもなります。どうぞよろしくお願いいたします。

自転車は被害者になることもあります、子どもが加害者になることもあります。子どもの自転車事故に関する判例を二つ紹介します。

【事例 1】

男子中学生が、夜間、無灯火の自転車を走行中、対面歩行の女性(75 歳)と衝突し、女性は頭部外傷により後遺障害を負った。裁判所は、無灯火で走行した自転車側に過失があるとして、中学生に 3,124 万円の損害賠償額の支払いを命じた。(名古屋地裁 2002 年 9 月 27 日判決)

【事例 2】

11 歳の男子小学生が夜間、マウンテンバイクで坂を下っていて、歩行中の 62 歳の女性と正面衝突した。女性は、転倒して頭の骨を折り、意識が戻らない状態となった。裁判所は、男児の加害責任を認定し、保護者に対し 9,500 万円の損害賠償を命じた。(神戸地裁 2013 年 7 月 4 日判決)

事例 2 のように責任能力が無い小学生の事故については、監督義務のある保護者が賠償責任を負うこととなります(民法 714 条)

自転車には保険の加入が義務づけられています。しっかり準備もして子どもたちが被害者にも加害者にもならないようにみんなで見守っていきましょう。

